

## 転職活動者調査 第2弾

### 転職活動中の「不安」や「企業に提示してほしい情報」の世代別の傾向 20～30代は他世代と比べ、働き方、環境について関心高い

株式会社リクルート（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：北村 吉弘、以下リクルート）は転職活動中の個人に調査を実施しました。本リリースは、2月2日(木)に発表した転職活動者調査の第2弾になり、転職活動中に感じる不安や企業に提示してほしい情報を世代別に見ています。調査期間は2022年12月13日(火)～12月14日(水)です。以下、1,040人の回答結果の概要を報告します。

#### トピックス

1. 転職活動中に不安に感じるのは「希望する年収を得られる仕事が見つかるかどうか」  
年代別に他年代と比較して多かった観点を見ると、  
20～30代の特徴「勤務場所や勤務時間等、希望の勤務条件で働ける仕事が見つかるかどうか」  
40～50代の特徴「年齢によって不利になるのではないか」
2. 転職活動において企業に提示してほしいことは「募集している職場の具体的な仕事内容やミッション」  
年代別に他年代と比較して多かった観点を見ると  
20～30代の特徴「勤務時間や休日休暇、リモートワーク実施率等の働き方に関する詳しい情報」  
50代の特徴「募集している職場の具体的な仕事内容やミッション」

#### ■HR統括編集長 藤井 薫 解説

今回、転職活動者1,040人の声から、転職活動中の不安や、企業に提示してほしい情報を探りました。不安では、「希望する年収」「転職したいと思える仕事」が見つかるかが、全世代とも上位となりました。一方、年代別では、20～30代が「希望の勤務条件（場所や時間）の仕事」が見つかるか不安。40～50代は「年齢によって不利」の不安と、年代別で差異が見えました。こうした不安を背景にしたように、企業に提示してほしい情報では、20～30代は「働き方に関する詳しい情報」、50代では「具体的な仕事内容やミッション」と年代別で差異が色濃く見られました。



リクルート  
HR統括編集長  
藤井薫

「希望する”年収”」「転職したいと思える”仕事”」「具体的な”仕事内容”」「働き方の”詳しい”情報」…。回答上位となった転職活動者の不安と、企業に提示して欲しい情報を見つめると、求職者一人ひとりが、①不安を払拭し②希望を満たす③具体的な情報によって、企業を選別しようとする立ち姿が見えてきます。コロナ禍で自らのキャリアを見つめ直した求職者は、自らの将来不安を払拭し、心から希望する仕事・年収・働き方を、おそらく企業が考える以上に具体的に希求しています。

特に、新しい働き方をリードする、20～30代の「働き方への希求」は、見逃せません。新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、企業によっては入社制限を見直し、オフィス回帰を促すケースもあるかと思えます。しかし、コロナ禍前の働き方に回帰させるだけでなく、働く一人ひとりにとって、より生産性高く働ける選択肢を持てるようにすることが求められているのではないのでしょうか。

「企業が働く個人を選ぶ」から、「働く個人に企業が選ばれる」時代に転換している今。働く個人の「不安と希望に、具体で提示する」ことこそ、選ばれる企業の条件となるでしょう。

本件に関する  
お問い合わせ先

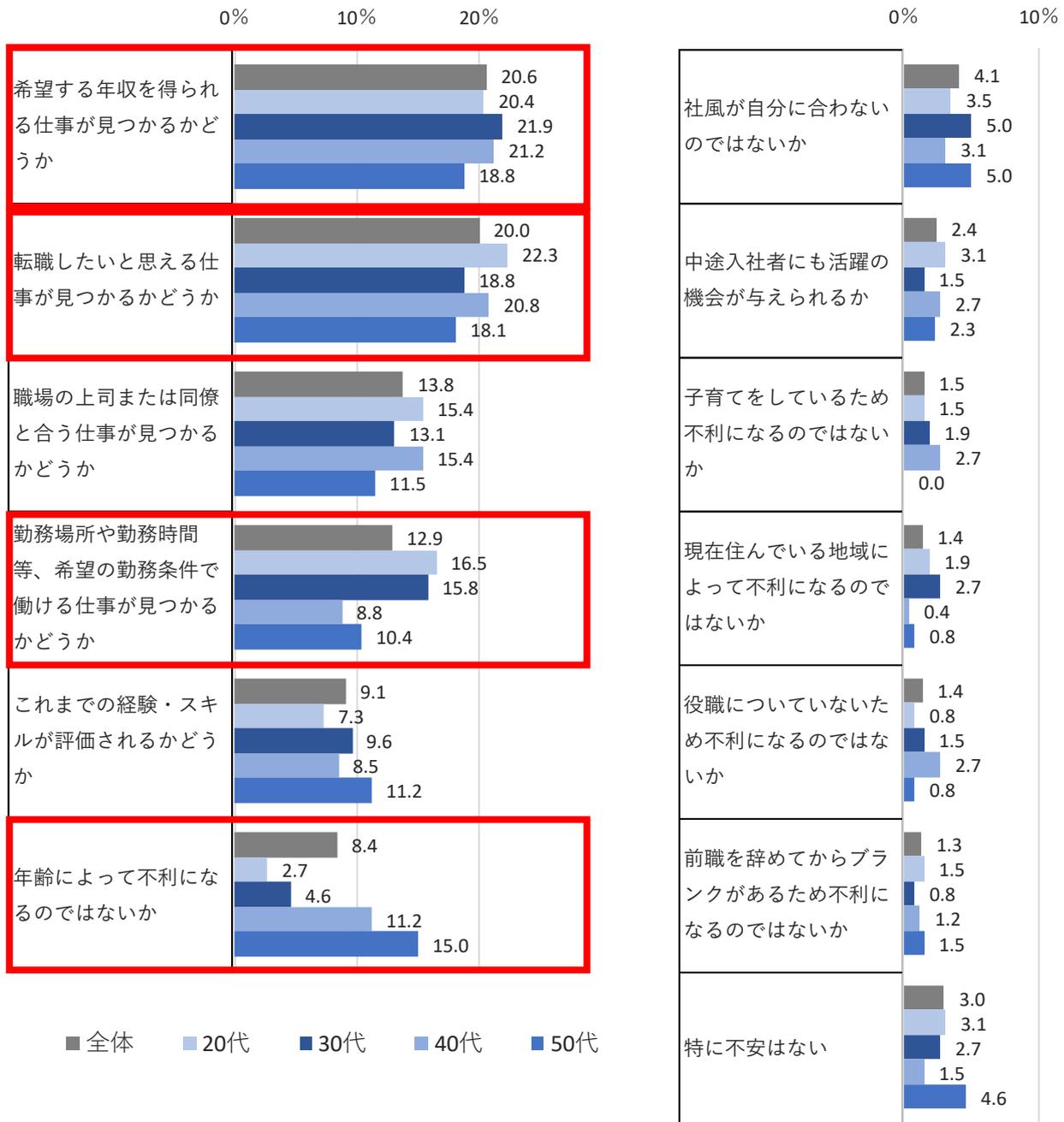
<https://www.recruit.co.jp/support/form/>

## 転職時の不安、全世代にとって「年収」と「仕事への納得感」がポイント

転職活動者に、転職活動中に不安だと感じることにについて聞いたところ、全体では「希望する年収を得られる仕事が見つかるかどうか」が20.6%、「転職したいと思える仕事が見つかるかどうか」が20.0%の順が多かった。年代別の特徴を見ると、20～30代は「勤務場所や勤務時間等、希望の勤務条件で働ける仕事が見つかるかどうか」、40～50代は「年齢によって不利になるのではないか」が他年代と比べ、5ポイント以上高い。

■転職活動中に不安だと感じることにについて教えてください。最も重要だと思うもの。(単一回答)

全体：n=1,040、各年代：n=260



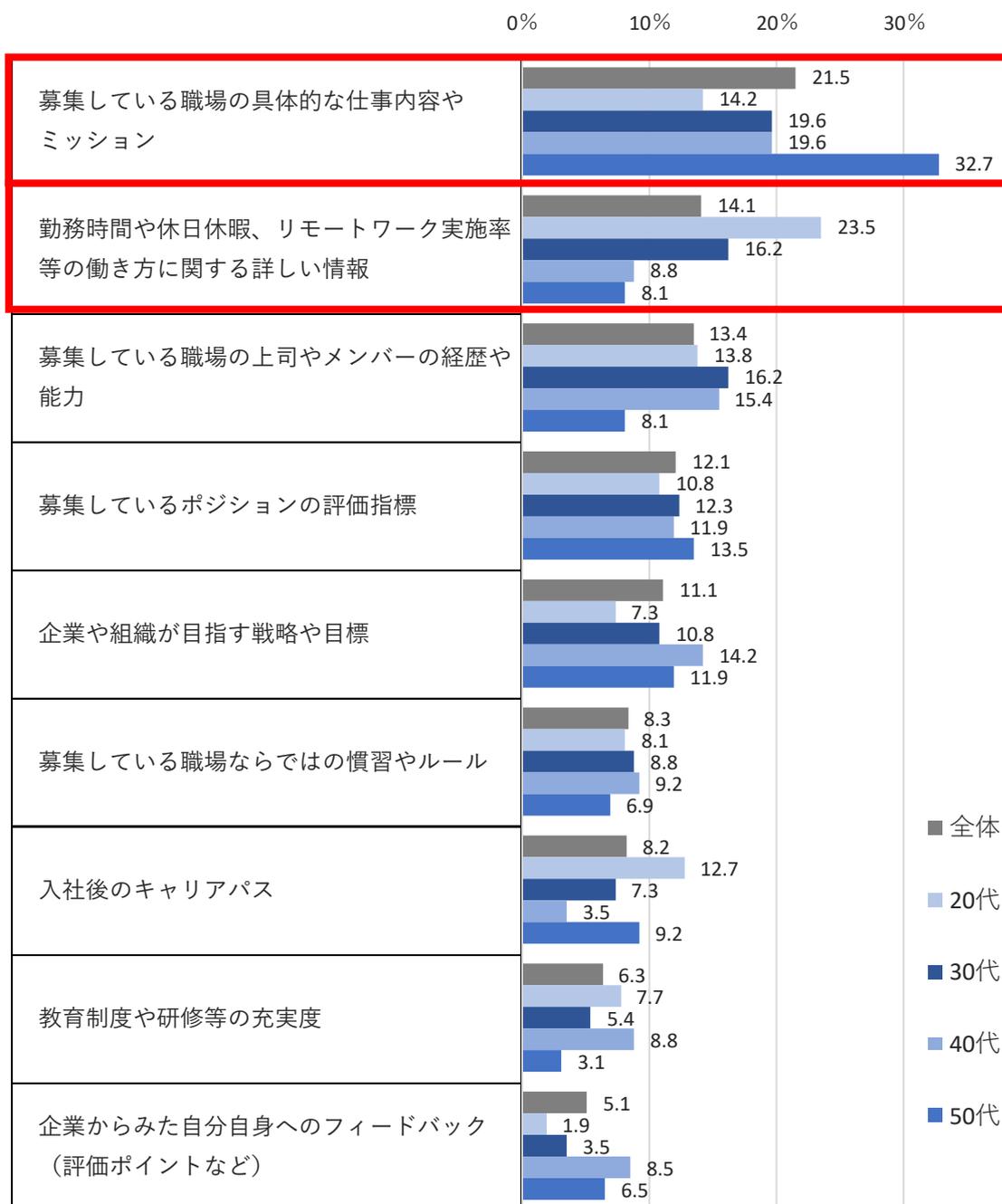
転職活動で企業に提示してほしいことは20～30代が「働き方に関する詳しい情報」、50代は「具体的な仕事内容やミッション」が他年代と比べて多い

転職活動者に、転職活動において企業に提示してほしいことについて聞いたところ、全体では「募集している職場の具体的な仕事内容やミッション」が21.5%と最も多かった。

年代別に見ると、20～30代は「勤務時間や休日休暇、リモートワーク実施率等の働き方に関する詳しい情報」が他年代と比べて高い。20代については23.5%で、およそ4人に1人が知りたいと思っている。40～50代が8%台であることをふまえると、特に関心が高いことがうかがえる。50代については「募集している職場の具体的な仕事内容やミッション」が最も多い。50代で最も重要だと回答した人が32.7%であり、他年代と比較して10ポイント以上高い。

■転職活動で企業に提示してほしいことを教えてください。最も重要だと思うもの。(単一回答)

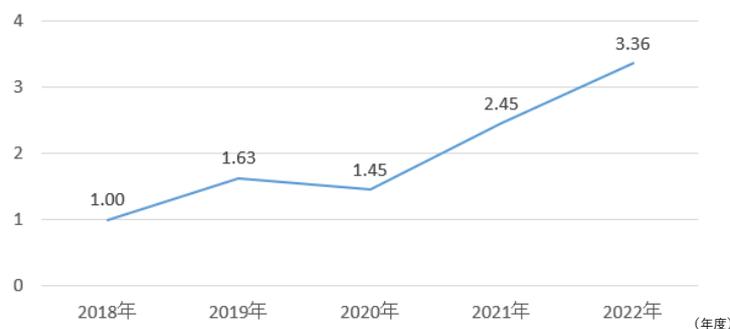
全体：n=1,040、各年代：n=260



## 参考：ミドル・シニアの転職実績は増えている

先述のように40～50代は「年齢によって不利になるのではないか」と考えているが、一方50代以上のミドル・シニアの転職は近年増加している。背景には労働市場の3つの変化が見てとれる。

ミドル・シニア（50～64歳）の転職決定推移  
(2018年度決定数を1とする)



出所：リクルートエージェント

- 1.構造的な人材不足により、求人数が増加している
- 2.D&Iの考え方が企業に浸透し実行フェーズになり、シニアをはじめとする多様な人材の活用が進んでいる
- 3.企業が人材を採用する際に、個人の経験や能力が年齢に関わらず評価されるようになってきている

### 「調査結果を見る際の注意点」

%表示の際に小数点以下第2位で四捨五入しているため、合計値と計算値が一致しない場合があります

## 調査概要

- (1) 実施期間：2022年12月13日（火）～12月14日（水）
- (2) 調査対象：転職活動中の方
- (3) 回答人数：1,040人
- (4) 調査方法：インターネット調査

## リクルートグループについて

1960年の創業以来、リクルートグループは、就職・結婚・進学・住宅・自動車・旅行・飲食・美容などの領域において、一人ひとりのライフスタイルに応じたより最適な選択肢を提供してきました。現在、HRテクノロジー、マッチング&ソリューション、人材派遣の3事業を軸に、60を超える国・地域で事業を展開しています。リクルートグループは、新しい価値の創造を通じ、社会からの期待に応え、一人ひとりが輝く豊かな世界の実現に向けて、より多くの『まだ、ここにはない、出会い。』を提供していきます。

詳しくはこちらをご覧ください。

リクルートグループ：<https://recruit-holdings.com/ja/> リクルート：<https://www.recruit.co.jp/>